

**【2年：理数探究】 中間発表会を実施しました**

6月11日（水）、56期生の理数探究受講者（91名）で中間発表会を実施しました。今回が初の中間発表会ということで、1年間探究を進めていくテーマを発表しました。4、5人で班を作り、版内で互いにテーマを発表した後、生徒間で相互評価を行いました。評価の中には、統計処理や研究倫理への指摘など、各テーマをクリティカルに検討している記述が多数見られました。今後どのように探究が進んでいくか、期待が膨らみます。生徒のテーマを一部紹介します。

- 「日本語における擬態語と図形の関係-ブーバキキ効果の拡張」
- 「ナックルボールの回転数と変化量の関係性について」
- 「蛇と人間の心理の関係性について」
- 「一番疲れにくい山の歩き方」



中間発表会の様子①



中間発表会の様子②

【2年：総合的な探究の時間】 分野別講演会を実施しました

6月18日（水）6・7限、2年生を対象に、大学から先生をお招きして分野別講演会を実施しました。生徒たちは、難しい内容でありながらも、大学進学や大学での研究を肌で感じることができ、大いに刺激を受けたようです。

【生徒の感想】

- ・ この講演は先生、プリント、討論の全てが英語で行われ、東京外国語大学のレベルの高さに身をもって実感した。私は、この大学を第一志望に考えており今回の講義でより一層この決意が固まった。
- ・ 今回は花粉症について学びました。大学は自らの進路をさらに広げる可能性をもつものであることを再認識し、自分のやりたいこと、夢に向かって自分がやりたいことを見出し将来に向けて行動していこうと思いました。



講演の様子



講義の中でカードを用いたシミュレーションをしている様子

【講演内容】 ※大学 50 音順

中央大学	中尾秀博 先生	ミッキーマウスは本当にかわいい？／掌篇小説を読みながら差別の意識を考える
電気通信大学	宮原大輝 先生	安全に計算する「秘密計算」を理解する！
東京外国語大学	吉崎知典 先生	ウクライナ危機政策シミュレーション：あなたならどう対応するか？
東京科学大学	菅原雄介 先生・三浦智 先生	最先端ロボティクスはどのような学問に基づくのか
東京学芸大学	相原琢磨 先生	大学数学を味わうーガロア理論を通してー
東京学芸大学	金子真理子 先生	教師生徒関係と「教育」の意味変容
東京都立大学	井上和哉 先生	認知と感情の心理学
東京都立大学	田村浩一郎 先生	動物は何を見ているのか？ー視覚のメカニズムー
東京都立大学	野村亜由美 先生	グローバルに活躍する看護師の資質
東京薬科大学	安達禎之 先生	花粉症研究の新展開ー免疫を使って免疫疾患を治療する
東北大学	伊野浩介 先生	化学・バイオの力で培養臓器をつくる！はかる！
横浜国立大学	相馬尚人 先生	データサイエンス事始め
早稲田大学	内藤 識 先生	AI 利活用×法学：文系・理系の枠を越えて

★ 夏休みには、探究に関するイベントが数多く実施されます。いろいろなことにチャレンジしましょう！ ★